

4K/8K HDR対応小型信号発生器 EMVG-4400-H 採用事例インタビュー

聞き手：株式会社エクスプローラ
<https://www.explorer-inc.co.jp/>



株式会社ニューメディア 様



決め手は 「導入実績があり、安心感があったから」

- ・ハイブリッドキャスト4Kライブ放送の実証実験で4K映像が必要だった。
- ・EMVG-4400-Hは小型でポータビリティ。
- ・コストパフォーマンスも抜群。



システム開発本部 茶谷部長

自社で使う先進システムを開発し、さらに色々なノウハウをパッケージ化して販売する。ハイブリッドキャストを使った4K映像配信にも取り組んでいる。

地域密着型でケーブルTV事業を中心にメディア事業、システム開発事業を展開する株式会社ニューメディア。現在北日本を中心に4か所の事業所を展開している。エクスプローラと同じ函館市桔梗地区の函館センターにお邪魔して、EMVG-4400-H（以下EMVG）を導入しシステム開発に取り組む茶谷部長にお話を伺いました。

導入の背景



EMVGの導入を決めていただいた茶谷部長

■EMVG 知ったきっかけはどのようにしてでしょうか。

—茶谷部長

営業の方から4Kコーデックの話をしていた時に、この信号発生器のパンフレットを見せていただき、小さな装置で『これあるといいな!』と。

■EMVGの導入前にどのようなことにお困りでしたか。

—茶谷部長

ハイブリッドキャストで4Kライブ放送の実証実験を始めてすることになり4K映像が必要でした。4Kカメラはあるのですが、簡単にテストでは使えません。動画機能が必要でしたので、EMVGはパターンが動く。特に矩形パターンが動くので確認しやすい。どうしてもカメラだと限界があります。テスト映像としてカメラは簡単にパンしたり動かすことができませんから。（笑）

検討段階

■選定理由はどのような点でしたか。

—茶谷部長

決め手はエクスプローラさんの製品を既に使っていて、安心感があったということが大きかったです。価格がそれほど高くなく、サイズも大きくない製品でしたので、特に他のものはみていませんでした。

■8Kではなく、4Kバージョンを決めたポイントを教えてください。

-茶谷部長

8K映像はCATVで再送信をやっています。しかし、自分達で8K映像を作って流す仕組みを持っておりませんでしたので、4K映像が必要でした。

導入後の効果



大きな設備が並ぶCATV局であるが、小型なEMVGのポータビリティは重要な選定要素だった。

■EMVGを導入してみて、期待効果はどうでしたか。

-茶谷部長

小さいのでテストがやり易かったです。持ち歩いてテストがし易い装置だとおもいます。

主に使っている機能はテストパターンですが、実は色はあまり気にしていなくて、フレームレートを気にするので、ちゃんとフレームレートが出ていることの確認にMoving Boxを使っています。CGの製作では特に気にすると思います。

EMVGはいろいろなところに持って行って使えるので、他には無い製品かとおもいます。ポータビリティがすごくあるなど。また、簡単に誰でもデフォルト設定で使えるので、そこは安心して使えます。

EMVGはPCからGUIで細かな設定ができるのですが、現場ではPCレスで使い重宝しました。

活用されたイベント

■イベントでの活用例を教えてください。

-茶谷部長

8月1日に福島-米沢間で4Kライブのハイブリッドキャストを使った放送実験を行いました。その準備段階のテストにEMVGを使用しました。

福島の『わらじまつり』という祭りがありまして、その映像を4Kカメラで撮って、米沢の道の駅に4Kモニタを設置し映像を映すというイベントです。そこで、福島-米沢をIPで伝送しますので、その映像が正しく通信できているか、EMVGを福島の撮影現場に持って行きテスト信号として使いました。



配信装置に設置されたEMVG-4400-H

■茶谷部長、お忙しい中ご対応いただきありがとうございました。

株式会社ニューメディア

設立 : 昭和61年6月5日
本社・米沢センター : 〒992-0044 山形県米沢市春日四丁目2-75 TEL 0238 (24) 2525
函館センター : 〒041-0801 北海道函館市桔梗町379-31 TEL 0138 (34) 2525
主要事業 : 地域情報を発信するコミュニティ番組の制作・放送、専門チャンネルサービス、インターネット、固定電話、無線ネットワーク、アプリケーション開発、コミュニティFM放送など、地域に必要とされる様々な事業を展開。



製品についてのお問い合わせ